

2014年5月14日

日本物流学会 会員各位

第31回全国大会実行委員会
委員長 矢野裕児(流通経済大学)

第31回日本物流学会全国大会での報告者募集のご案内

会員各位におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本年の全国大会は9月11日(木)から13日(土)の日程(別紙1)で、千葉県松戸市にあります流通経済大学新松戸キャンパス(千葉県松戸市新松戸3-2-1)において開催いたします。本年の統一論題は「ロジスティクスを支える人材の育成」(別紙2)としました。自由論題と合わせて多数の報告者を募集いたします。

つきましては、別紙3の各項目をすべてご記入のうえ、電子メールまたはFAXにて全国大会実行委員会まで、できるだけ早くご送信いただきますようお願い申し上げます。なお、**報告申込最終期限は6月20日(金)**です。応募方法は、学会のWEBサイト(<http://www.logistics-society.jp/>)からもご参照いただけます。

【送付先】

第31回日本物流学会全国大会実行委員会事務局
電子メール:logistics31taikai@rku.ac.jp(第31回全国大会専用)
FAX:0297-64-0011(流通経済大学)

※全国大会では、報告の為の原稿提出と大会当日の発表が義務付けられています。期日までの原稿提出と、大会発表当日の日程が確保されることをご確認のうえ、応募してください。なお、発表は1人1本を原則とします。詳細は、全国大会の発表に関する規定(<http://www.logistics-society.jp/haltupyokitei.pdf>)をご覧ください。

※報告者に対する受領通知や研究報告集原稿作成のお願いは、電子メールを用いてご連絡させていただきます。

※各種の問い合わせ等は電子メールでお願いいたします。電話での対応はできませんので、ご了承ください。

※なお、このご案内は5月末に会員に送付いたします学会年報にも同封させていただきます。

別紙 1

第 31 回日本物流学会全国大会プログラム(案)

9月11日(木) 流通経済大学新松戸キャンパス 13階会議室
夕刻 理事会

9月12日(金) 流通経済大学新松戸キャンパス講堂

9時30分～受付

10時00分～12時00分 基調講演、特別講演

12時00分～13時15分 昼食

13時15分～15時30分 統一論題パネルディスカッション

15時45分～17時15分 会員総会

17時30分～19時00分 懇親会

9月13日(土) 流通経済大学新松戸キャンパス教室

9時30分～12時00分 統一論題、自由論題、院生セッション

12時00分～13時00分 昼食

13時00分～16時30分 統一論題、自由論題、院生セッション

※時間は一応の目安で、発表件数などによって変更の可能性があります。

※細かいプログラムは、決定次第、学会ホームページに掲載いたしますので、そちらをご覧ください。

別紙 2

統一論題 ロジスティクスを支える人材の育成

高度なロジスティクスを実現するためには、それを支える人材の育成が欠かせない。今後、日本のロジスティクスをより発展させていくためには、教育機関、企業等により、ロジスティクスに関する専門知識を有する高度な人材の育成を図っていく必要がある。このような人材育成の必要性については、総合物流施策大綱（2013-2017）においても、「物流を支える人材の確保・育成」の「高度化した物流システムを支える人材を育成し、我が国物流の競争力強化を図る。」として、指摘されているところである。

日本におけるこれまでのロジスティクス人材育成の状況をみると、学生に対してはロジスティクスのカリキュラムを有し、体系的な教育を実施している大学の数は少ないという現状がある。また、社会人に対しては業界団体、あるいは個別企業での人材育成が図られてきたものの、高度な専門知識を有する人材の数はまだ少ないという現状がある。このように、教育機関と企業の両方において一貫した人材育成がなされていない理由は、ロジスティクスは総合的・横断的な分野であるのにも関わらず、輸送や保管などに限定した教育が多かったこと、企業においても関連する部署が多岐にわたるのにも関わらず、物流担当者のみを対象とした人材教育がなされてきたからである。さらに、その背景として、社会全体、あるいは一般企業でのロジスティクスに対する意識と関心がまだまだ低いという問題もある。

これらの問題を解決していくためには、小中高でのロジスティクスに親しむ教育の導入、社会に向けてのロジスティクスの重要性のアピール、大学におけるロジスティクス教育の拡大、産学連携によるロジスティクス教育の取り組み、企業におけるロジスティクス教育の充実、求められる専門知識内容の総合化・体系化、ロジスティクス関連人材のキャリアパスの構築、ロジスティクス人材のオーソライズなどの様々な方策を講じていくことが考えられる。

高度なロジスティクス人材を育成していくためには、個々企業あるいは大学による対応では難しく、産官学が連携した議論が今後必要といえる。今回の統一論題は、上記のような問題意識に立ち、今後のロジスティクスの発展のためには欠かせない人材をどのように育成していくべきか、広範な視点で議論したいと考える。

